

一般的な事故要因と業種を超えて共通する対策例(汎用版) SHELL 分析手法

| 考えるヒント | 具体例 | |
|------------------|-----|---|
| 運営・ソフトの問題 (S) | 要因例 | マニュアル、規定などシステムの運用に関わるもの |
| | 対策例 | 例：説明書の掲示、新人・新任教育、管理職教育、職場慣習の見直し マニュアル見直し(作業手順、権限・役割の見直し) |
| 機械・ハードの問題 (H) | 要因例 | 機械・機器、設備、施設づくり・配置 |
| | 対策例 | 例：原因となりうる機器の定期点検、老朽化機器・部品の交換、 新機種を導入、機器の配置換え、補助装置・補助器具の導入、 作業着・作業靴の改善 |
| 環境の問題 (E) | 要因例 | 仕事の環境 / 物理的環境、それ以外の環境 |
| | 対策例 | 例：改修による環境改善、照明・騒音・空調の改善、業務範囲・労働条件・勤務時間・受け持ち件数の見直し、業務分担、組織風土の見直し、 環境(周辺住民など)との融合・交流 |
| 人の問題 / 本人 (L) | 要因例 | 事故に関わった本人の身体的・心理的ストレス、技術・知識不足 |
| | 対策例 | 例：心身状態の把握と改善指導・支援(検査に行く、カウンセリングを受ける、 休む、合意に基づく配置換えなど)、経験・知識・技術的問題の解消(研修の機会を提供するなど) |
| 人の問題 / 他者 (L) | 要因例 | 当事者以外の人々・マニュアル作成者・指示者、(相手)の身体的・心理的 ストレス、技術・知識不足 |
| | 対策例 | 例：心身状態の把握と改善指導・支援(検査に行く、カウンセリングを受ける、 休む、合意に基づく配置換えなど)、経験・知識・技術的問題の解消(研修の機会を提供するなど) |

対策の方向性(一般的に共通する方向性)

- ・ 排除規定「 はしない」
- ・ 標準化(統一ルール)
- ・ 単純化(携帯化)
- ・ 可視化(目に見えるようにする)
- ・ 意識付け(研修・教育)